

平成 30 年度 高齢者支え合いコミュニティ支援事業団体

組織名	神明町町内会	代 表	会長 きとう あきひろ 佐藤 彰宏
地域（市町村）	県中（郡山市）	加入世帯数 （所属人数）	359 世帯（1,550 名）

（１）町内会の特徴について

芳山小学校、郡山二中、安積黎明高校などに隣接する地域にあり、これまで児童の防犯や安全、お祭りなど地域社会に貢献すべく活動してきた。近年は町内会においても高齢化を迎えたこともあり高齢者の見守りや住民間の交流など地域のコミュニケーションづくりに力を入れている。

（２）事業実施背景

古くからの住民の高齢化と、新しい住民への町内会活動への理解および加入の増加が現在の課題となっている。

（３）本年度事業実施内容と今後の方向性

一昨年度より実施している「サロン」は、定例化が図られてきており、近隣住民間相互のふれあいが活発化している。

また、写真入りの町内広報誌を毎月 1 回発行し、今年度設置の町内会用の掲示板を活用して町内会未加入世帯への情報提供ができた。

上記の事業に加えて、12 月に市の社会福祉協議会の支援を受け「雪かき隊」を発足することができた。

児童の通学路の確保、単身高齢者世帯の生活路の確保を目的とし、町内会役員を中心として可能な時に可能な程度の支援をしている。さらには、地域住民にも協力してもらえる状況も少しずつできており、今後さらに発展させていきたい。

＜地域全体でさらなる住みよい街になるように＞

3 年前より、高齢者を対象とした「いきいきサロン」を開催している。

取材日は他の町内会のフォークダンスクラブの方を呼び、町内会圏域にとらわれず広く交流が図られた。また、今年は町内広報誌「しんめいちょう」を毎月発行し広く広報することで、加入世帯のみならず未加入者世帯に対する呼びかけを重点的に行った。

住みやすい街であるからこそ、横のつながりをさらに広げる工夫をしていくことで、さらにいい街にしていきたい。そして、住んでいる住民のみならず、この地域に関わりのある人には誰にでもいい街であると感じてもらえるよう、神明町町内会は歩んでいく。

①町内会会長の佐藤彰宏氏から「これからもサロンのような事業を通して交流を図ってきたい」と話されていた。



②「いきいきサロン」では、健康講座なども併せて行われ、参加者は興味深く耳を傾けられていた。



③「しんめいちょうだより」は毎月、町内の掲示板を活用して広く広報を行った。写真を多くして、より見易い工夫を行った。

